

第20回東三河サイエンスカフェ 2008年10月2日(木) 午後6時30分～8時00分 豊橋駅前サテライトオフィス

30周年



国立大学法人豊橋技術科学大学
開学30周年記念事業
—確かな礎から未来へ—



<http://www.ita.tutkie.tut.ac.jp/~kawai/cs/> 東三河サイエンスカフェ 検索

サイエンスカフェは、講演会や体験講座とは違い、ゲストスピーカーやほかの参加者とのフランクな語らいを楽しむ場です。どうぞ、サイエンスについて語らう楽しみを満喫してください。

カメラがとらえた野生動物・その2

9月4日のカフェでは、この地方に棲むタヌキ・キツネ・イノシシ・テンなど8種類の動物について皆さんと楽しく話し合いましたが、盛り上がったところで時間切れとなり予定の内容の半分で終わってしまいました。ご出席の皆様には、ご迷惑をおかけしました。その事情をカフェ事務局が察して下さり、印象の残っている間に後半をどうぞという有難いご配慮をいただき、『カメラがとらえた野生動物・その2』を開くことになりました。



豊川市赤石神社のムササビ

今回は、ニホンザル・ニホンリス・ノウサギ・ムササビ・アライグマなどの話をしたいと思います。ニホンザルはイノシシ・ニホンジカ同様に食害を引き起こし社会問題となっていますが、人を恐がらないその姿を見ていただきたいと思います。ムササビは社寺林中心にこの地方でも多く生息しており、容易に観察が可能な動物です。観察方法もご紹介したいと思います。また、自然の変化が動物の生活にどのような影響を与えたかとか、ロードキルの実情などを話し合えればと思います。

- ★ゲストスピーカー：
神戸 敦 先生
三河生物同好会
東三河自然観察会
愛知県立御津高等学校
(非常勤講師)
- ★先生のご専門：
生物
- ★先生からの一言：
前回のカフェで、「イノシシが、自然薯を掘った」とか、「ウミガメの卵が何かの動物に食べられた」とか、「イノシシが今までいなかった渥美半島で繁殖し食害が起きている」等々の皆さんの貴重なお話しは勉強になりました。今回は、どのようなお話しが聞けるか楽しみです。

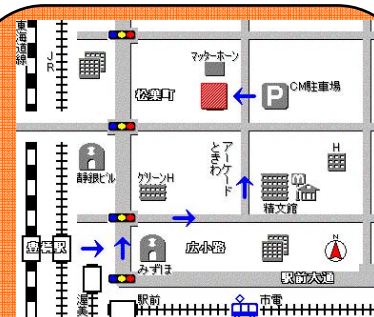
★対象：高校生以上どなたでも。参加費無料。定員20名。定員に達し次第締めきります。

事前に参加申込をしてください。

★申込：参加希望の方は、「第20回参加希望」と明記し、「氏名」「年齢」「連絡先(電話番号またはメールアドレス)」をお書きの上、下記のメールアドレスまたはFAXあてお申込みください。

東三河サイエンスカフェ事務局
メール：chiren@office.tut.ac.jp
FAX：(0532)44-6509
申込〆切：10月1日(水) 正午

★ご連絡いただいた個人情報、申込受付等の連絡業務にのみ使用します。



★会場(豊橋技術科学大学豊橋駅前サテライトオフィス)：豊橋駅から、広小路どおり、ときわアーケードを通り抜けた先の左側にあります。駅から徒歩5分。電話：(0532)55-8252